

令和3年10月8日  
四国電力株式会社

## 伊方発電所3号機 蓄圧タンクサンプリング隔離弁の不具合について

第15回定期検査中の伊方発電所3号機（定格電気出力89万キロワット）において、蓄圧タンク3A内の水を分析するため、原子炉格納容器内（管理区域内）にある蓄圧タンクサンプリング隔離弁を開いて同タンク内の水を採取し、当該弁を閉じましたが、水が完全に止まらないことを確認しました。

このため、保修員により当該弁のシート調整等を実施しましたが、改善が見られなかったことから、本日8時55分、分解点検を実施することとしました。

サンプリングラインからの水は、本事象確認後、下流の弁を閉じて停止しています。また、同ラインから出た水はすべて回収しており、系統外への漏えいはありません。

今後、引き続き、詳細を調査します。

なお、本事象による環境への放射能の影響はありません。

（別紙）伊方発電所3号機 蓄圧タンクサンプリング系統概略図

（参考）

### ○蓄圧タンク

1次冷却材喪失事故時に、核分裂反応を抑制するほう酸水を自動的に炉心注入するため、通常時、ほう酸水および加圧窒素が満たされているタンク。原子炉内の冷却水が漏出して1次冷却系統の圧力が低くなると、タンクから炉内にほう酸水が注水される。

以上

伊方発電所 3号機 蓄圧タンクサンプリング系統概略図

